



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）9月25日号 No. 1606

目次

■ ロシア地方選とソビヤニン・モスクワ市長再選	中馬 瑞貴 1
■ トピックス	8
JBICがズベルバンク向けに輸出クレジットライン／8	
日立製圧縮機、ロシアでベストサプライヤー賞受賞／8	
トヨタがロシア工場でのSUV生産を決定／8	
ルノー・日産、AvtoVAZとロシアで購買共通化／8	
エーザイがロシアで抗がん剤を販売／8	
三菱重工がウズベキスタンでガスタービン受注／9	
三井造船、トルクメン向け硫酸プラントを受注／9	
JBICとトルクメニスタン政府が貸付契約／9	

ロシア地方選とソビヤニン・モスクワ市長再選

ロシアNIS経済研究所 研究員

中馬 瑞貴

はじめに

2012年10月に復活したロシア連邦構成主体首長選挙を受け、2013年9月8日に統一地方選挙が実施された。8連邦構成主体首長選挙、16連邦構成主体の議会選挙他、地方自治体合わせて80の連邦構成主体で選挙が行われた。昨年同様、すべての連邦構成主体で現職首長が再選、統一ロシアが議会第一党という結果となったが、エカテリンブルグ市やペトロザヴォツク市など、いくつかの地方自治体では「統一ロシア」以外の候補者が当選するなど、興味深い結果も見られた。そんな中、今年の統一選挙の最大の注目は、2015年の任期満了に先立って行われたモスクワ市長選挙であった。

ソビヤニン市長の再選はほぼ確実であった一方、積極的な選挙活動を実施した対立候補の健闘は事前の予想以上であった。本稿では、連邦大統領・議会選挙とは独立した形で初めて実施されたモスクワ市長選挙の結果について報告するとともにモスクワ市以外の選挙結果についても言及する。なお、各構成主体の選挙結果についてはロシア連邦中央選挙管